

生き残る保育施設とは～保育はすべて子どもの前に私たち～

NPO 法人国際臨床保育研究所

勝山 結夢(かつやま ゆむ)

▷乳幼児期は人生で最も大切な時期…かもしれません

人生の出発の時として、子どもにとって最も大切な時代

奈良県人権保育研究会 大寺 和男 先生

▷日本の保育はほとんどが“感覚保育”

あなたは答えられますか？

① 赤ちゃんの記憶力はどれぐらい？

研究が急速に進んでいます！

② 子どもは他者をどのように認知しますか？

▷子どもを“正しく学ぶ”こと

-乳幼児期に関する保育・教育学、心理学、社会学、

経済学、脳科学等の研究は進展し、それぞれの立場から乳幼児教育への提言がなされています

→学び続けることでしか保育は良くなりません

様々な調査/研究から教育投資、

特にこれまで重要視されなかった誕生直後からの教育の必要性が先進諸国を始めとする国々で注目され教育改革の真っ最中です →乳児期からの教育が必要である

→しかし、乳幼児期からの質の高い保育/教育の統一化がまだ研究段階である

→乳幼児期に懸念されている保育/教育は発表され出している

▷これと共に大切なこと…

「あなたの保育施設の売り（特色/構造）は何ですか？」

パーパス/構造/保育指針/教育内容 がしっかりしていること→保護者向け・保育者向け・地域

▷保育・学校・保護者共に変わらなければならない “生きる力は教育にある”

これらを目指し、保育改革が各地で始まっている

▷アクティブ・ラーニングは私たちの在り方

1) 継続した学び

2) 学びの実践化

3) 相互好作用

保育者が学ぶ→方針や学びの実践化「まずはやってみよう」と伝えていますか？→振り返り/学び

保育施設のあるあるチェックリスト 例

- 提出物が期限内に出ない
- 保育者共用物が返却されない
- 会議や研修が時間通り始まらない/終わらない
- トイレtpペーパー/トイレのスリッパ/ホースがぐちゃぐちゃ
- 保育者同士のやり取り
- 子どもへの言葉と保育者の言葉の矛盾
- 否定と噂話
- 子どもに気を遣うのではなく、おとな同士が気を遣う
- 当たり前のルールが徹底されていない
- 辞職を懸念し、気になることが言えない

【会議の持ち方 ポイント】

- ① 定型型:
- ② 創造型:
 - 1) 発散:
 - 2) 収束:

▷保育者とは、保育とは

誰のための保育なのか：うわべだけの子どもファーストでは生き残れない
なぜなら、これが保育/教育の土台だからです

・小さなことが、大きなこと←保育の質はおとなと細部に

▷子どもの前に私たち

子どもは自分への関わりの時間よりも、保育者と他者との関わりの方が多い
→ “おとなって面白い” “人間って楽しい” を伝えるのは人的環境です

私たちはアクティブ・ラーナーとして子どもに映っていますか

——NPO 法人国際臨床保育研究所

- ・インスタグラム
- ・Facebook
- ・LINE
- ・アメブロ で発信しています【NPO 法人国際臨床保育研究所 検索】